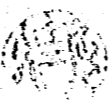


樞密院

昭和二十年五月二十五日立案

書記官長



主筆

書記官



書記官



軍需省官制中改正ノ件審査報告

(別紙ノ通り)

副 密 院

机密防院

軍需省官制中改正ノ件審査報告

謹デ今回御諮詢ノ軍需省官制中改正ノ件ヲ審査  
スルニ軍需省ニ於テハ時局下緊要ナル軍需生産確  
保ノ任務ヲ擔當シ然モ軍需行政ノ内容愈々複雑多  
岐ヲ加フルノ現状ニ在リテ其ノ機構ヲ簡素化スルハ  
相當考慮ヲ要スル所ナルガ他方戦局ノ推移ニ鑑ミ此

區 密 院

相 密 院

ノ際地方軍需監理部等地方ニ於ケル軍需行政ノ機構

ヲ能ク限リ充實強化スルノ必要ナルコト亦言フ俟タズ

仍テ今回本件ヲ以テ軍需省官制中ニ改正ヲ加シ中央事務

ヲ極力地方機關ニ委譲スルト共ニ事務處理ノ敏活ヲ圖

ル趣旨ヲ以テ省内機構ノ改組及職員定員ノ縮減ヲ行

ハントス  
カントト爲サントス

今本案ノ要旨ヲ述ブレバ次ノ如シ

(一) 外局タル企業整備本部ヲ廢止スル爲軍需大臣ノ管理

事務中ニ他省ノ所管ニ屬スル以外ノ企業整備ノ統轄

及金屬類ノ回收ニ關スル事項ヲ加フ(第一條)

(二) 従前軍需省ニ於テハ大臣官房ノ外一總局ハ局ヲ置キ夕

ルガ今回整備管理及石炭ノ三局ヲ新設スルト共ニ輕

區 密 院

柳 密 院

金屬局ヲ廢止シ非鐵金屬局ヲ鑛山局ト改稱シ從前航  
空兵器總局ニ於テハ長官官房ノ外ニ總務、第一乃至  
第四ノ五局ヲ置キタルヲ總務、兵器、資材及經理ノ四  
局トシ又局中局務ヲ分掌スル爲設ケタル部ハ之ヲ  
廢止ス(第二)

(三)大臣官房所掌事務中ニ從前總動員局ニ於テ司掌セ

ル重要政策ノ企畫及審議一般竝ニ所管行政ノ考

査一般ニ關スル事務ヲ加ヘ整備局ニ於テハ概ネ企業

整備本部ノ所掌事務竝ニ從前總動員局ノ所掌事務

務タル所管企業ニ於ケル資金調整、所管防衛業務

ノ總括及土木建築事業ニ關スル事項ヲ、管理局ニ於

テハ同ジク總動員局所掌事務中ノ所管物資ノ價

區 密 院

格一般、所管企業ニ於ケル勤勞管理、賃金及經理統  
制ニ關スル事項ヲ、石炭局ニ於テハ從前燃料局所掌  
事務中石炭、亞炭、ガス及コークスニ關スル事項ヲ夫々

司掌セシムルコトトシ輕金屬局所掌事務ハ之ヲ航空兵器總

局へ移管スルモノトス（第一條ノ二、第三條乃至第  
四條、舊第九條及第十條）

（四）部ノ廢止及地方鑛山局へ移換ノ爲部長、軍需官、軍

需書記官、軍需事務官、軍需技師、軍需官、補軍需屬  
及軍需技手ノ定員ニ於テ各若干人ヲ減少ス（第十四條、  
第十七條）

第十九條及  
二十一條

（五）企業整備本部官制ハ之ヲ廢止スルト共ニ同本部職員

ニ關スル經過の規定ヲ設ケ軍需省部長及企業整

備本部回收官ノ廢官ニ伴ヒ之ガ任用、初級官等々ニ

特別

關スル規定ニ所要ノ改正ヲ加フ(附)

按ズルニ本件ハ戦局ノ推移ニ即應セシメンガ爲軍

需省ニ於テ部局ノ廢合及職員ノ移換ヲ爲サントスル

其ノ基ヲ所ハ主トシテ實際ノ經驗ニ在ルガ故ニ之ヲ因リ將來ニ於テ便利

モノニシテ(別ニ支障ノ虞ナキニ)由リ此ノ儘ニ之ヲ可

ニシ能クナラシムルベシト思料ス

決セラレ然ルベシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年五月二十五日

書記官長

議長宛

軍需省官制中改正ノ件審査報告

謹デ今回御諮詢ノ軍需省官制中改正ノ件ヲ審査  
スルニ軍需省ニ於テハ時局下緊要ナル軍需生産確  
保ノ任務ヲ擔當シ兼モ軍需行政ノ内容愈々複雑多  
岐ヲ加フルノ現状ニ在リテ其ノ機構ヲ簡素化スルハ  
相當考慮ヲ要スル所ナルガ他方戦局ノ推移ニ鑑ミ此

ノ際地方軍需監理部等地方ニ於ケル軍需行政ノ機構  
ヲ能ク限り充實強化スルノ必要ナルコト亦言フ俟タズ

仍テ今回本件（同省）ヲ以テ軍需省官制中ニ改正ヲ加シ中央事務

ヲ極力地方機關ニ委譲スルト共ニ事務處理ノ敏活ヲ圖

ル趣旨ヲ以テ省内機構ノ改組及職員定員ノ縮減ヲ行

ハコトト爲サントス

（本案ノ官制改正ニ依リ）

今本案ノ要旨ヲ述ブレバ次ノ如シ

(一) 外局タル企業整備本部ヲ廢止スル爲軍需大臣ノ管理

事務中ニ他省ノ所管ニ屬スル以外ノ企業整備ノ統轄

及金屬類ノ回收ニ關スル事項ヲ加フ（第一條）

(二) 従前軍需省ニ於テハ大臣官房ノ外一總局ハ局ヲ置キ夕

ルガ今回整備管理及石炭ノ三局ヲ新設スルト共ニ輕



金屬局ヲ廢止シ非鐵金屬局ヲ鑛山局ト改稱シ從前航  
 空兵器總局ニ於テハ長官官房ノ外ニ總務第一乃至  
 第四ノ五局ヲ置キタルヲ總務、兵器、資材及經理ノ四  
 局トシ又局中局務ヲ分掌スル爲設ケタル部ハ之ヲ  
 廢止ス(第三條七項前段及第八條)

(三)大臣官房所掌事務中ニ從前總動員局ニ於テ司掌セ

ル重要政策ノ企畫及審議一般竝ニ所管行政ノ考

査一般ニ關スル事務ヲ加ヘ整備局ニ於テハ概ネ企業

新設ノ三局ニ付

整備本部ノ所掌事務竝ニ從前總動員局ノ所掌事務

務タル所管企業ニ於ケル資金調整、所管防衛業務

ノ總括及土木建築事業ニ關スル事項ヲ管理局ニ於

テハ同ジク總動員局所掌事務中ノ所管物資ノ價

格一般、所管企業ニ於ケル勤勞管理、賃金及經理統

制ニ關スル事項ヲ、石炭局ニ於テハ從前燃料局所掌

事務中石炭、亞炭、ガス及コークスニ關スル事項ヲ夫々

司掌セシムルコトトシ、輕金屬局所掌事務ハ之ヲ航空兵器總

局へ移管スルモノトス（第一條ノ二、第三條乃至第四條、舊第九條及第十條）

（四）部ノ廢止及地方鑛山局へ移換ノ爲部長、軍需官、軍

ニ伴ヒ部長ヲ廢止シ

需書記官、軍需事務官、軍需技師、軍需官、補、軍需屬

及軍需技手ノ定員ニ於テ各若干人ヲ減少ス（第十四條、第十七條）

第十九條及二十一條

（五）企業整備本部官制ハ之ヲ廢止スルト共ニ同本部職員

ニ關スル經過的規定ヲ設ケ軍需省部長及企業整

特別

備本部回收官ノ廢官ニ伴ヒ之ガ任用、初級官等々ニ

關スル規定ニ所要ノ改正ヲ加フ(附)

按ズルニ本件ハ戦局ノ推移ニ即應セシメンガ爲軍

需省ニ於テ部局ノ廢合及職員ノ移換ヲ爲サントスル

モノニシテ別ニ支障ノ虞ナキニ由リ此ノ儘之ヲ可

ニシ能ホナクノ事ヲ得ルキモハハ湯タル其ノ他

決セシムルベシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年五月二十五日

書記官長

議長宛

樞密院

地方總監府官制外二件審査報告

昭和二十年六月五日

委員長

清水副議長

委員

窪田顧問官

南

青

茶良顧問官

小幡顧問官

三土顧問官

百武顧問官